

1年 道徳学習指導案

平成28年11月 8日(火)

指導者

- 1 主題名 内容項目名 自主, 自律, 自由と責任 (内容項目番号 A-1)
(資料名「ネット将棋」 出典「私たちの道徳」)

2 主題設定の理由

(1) 価値について

内容項目1は「自律の精神を重んじ、自主的に考え、判断し、誠実に実行してその結果に責任を持つこと」をねらいとする。

人として自律し、自主的に行動することは生きがいのある生き方である。人は自ら規律を作り、自分で考え、判断して決めたことを誠意ある態度で実行する時に自らの生きる喜びを感じるものである。自らが考え実行したからこそ、その結果に対しては責任が求められる。人は自らを律し、自分の行動について自ら進んで考え、判断して、心をこめて実行し、責任ある態度が取れることによって、自信に満ちた生き方をすることができる。

中学生の時期は、周囲が気になり、その場の雰囲気流されやすい。学年が上がるとともに、自己認識が高まり、自らの考えを大切にして自主的に考えて行動できるようになる。しかし、自分本位な考えから自分の行為のもたらす影響を考えることなく、他者に対して無責任な言動をとることもある。

生徒は素直で真面目に物事に取り組む雰囲気がある。毎日の学校生活は落ち着いているが、自分のことを深く考えたり、自分のできることを判断して積極的に行動する気持ちが十分に育っているとはいえない。また、関わりを持つ人の数も少ないため経験が不足しており、結果を素直に受け入れたり、最後まで責任を果たそうとする行動に欠ける面がある。

以上のことから、自分を見つめ直し、小さな行為でもミスから考え判断し、誠実に行動することで人間としての誇りを持って生きることの大切さについて考えることをねらって、本主題を設定した。

(2) 生徒の実態について (21人)

中学1年生として一つ一つの活動を積み重ねていくことにより、中学校生活に適應してきている。素直で中学生らしい対応ができる。読みやすい字で文章を綴ることができる生徒がいるが、文字を書くことや表現することを苦手とする生徒も見られる。普段の生活と結びつけた内容を取り入れて、自分の気持ちを考えることを通して、主題に迫れるようにしたい。

本授業に向けて行った事前調査の結果は、以下の通りである。

- ① ゲームをよくしますか。 はい12人, いいえ8人
- ② 友達とゲームで対戦しているときに負けそうになった時, どんな気持ちになりますか。
悔しい, 勝ちたい(5人), 負けてしまう(4人), 負けたくない, やばい(2人)等
- ③ インターネットで知らない人とゲームで対戦していました。あと少しで勝てそうな時, 知らない人どうしでの対戦であることをよいことに, 相手が勝手にゲームをやめてしまいました。あなたはどんな気持ちになりますか。

嫌な気持ち（5人）、怒る（3人）、腹が立つ、むかつく、自分の勝ち（2人）等

- ④ それはなぜですか。対戦相手に言いたいことを含めて書いてください。
最後までやって（6人）、もうすぐ勝てたのに（3人）、負けそうだからとやめないうで、勝手にやめないうで、自分勝手だ、ずるい、エラーがあったのか、急用ができたか（2人）等
- ⑤ 対戦相手はなぜ勝手にゲームをやめてしまったのでしょうか。相手の気持ちを考えて書いてください。
負けるのが嫌だから（10人）、負けるくらいならやめよう（5人）、飽きたからやめよう（2人）等
- ⑥ 大輔さんはドッチボールで、弱いと思って対戦した相手に大差で負けてしまいました。対戦前は大きな声で礼をしてあいさつをしたのに、対戦後は相手に同じように礼をすることができませんでした。大輔さんはどんな気持ちだったのでしょうか。
悔しい（12人）、恥ずかしい、落ち込んだ（2人）等
- ⑦ 理由を答えてください。

弱いと思っていた（6人）、勝てると思っていた（4人）、相手をなめていた、負けるとは思っていなかった、何で負けたのだろうか（3人）等

事前調査の結果を見ると、男子は全員ゲームをよくすると答えているが、女子は2名である。ゲームで負けそうになると悔しく、勝ちたい（各5人）、と思い、インターネットを通して知らない人同士で対戦をしている時に勝手にゲームをやめられた時には、嫌な気持ち（5人）、怒る（3人）、腹が立つ、むかつく（各2人）と答えている。ドッチボールで弱いと思って対戦した相手に負けた時には、悔しい気持ち（12人）、になると答えている。

この結果を踏まえて、授業では主人公がネット将棋で負けそうになるとやめてしまった時の気持ちを共感的に取り上げていきたい。自分の気持ちだけでなく、対戦相手の気持ちを考え、負けを認め、相手に感謝の気持ちを表すことの意味を考え、自分の考えを持って適切に判断して行動し、責任を果たすことの大切さをとらえさせたい。本時を展開するにあたっては、日常生活の生徒の言動と結びつけて、自主的に考え、誠意を持って行動することの大切さについて考えていきたい。

（3）資料について

主人公の「僕」は将棋で負けそうになると時間稼ぎをして引き分けに持ち込み、負けを認めようとしなかった。ネット将棋で力をつけている敏和とは対照的に、「僕」はネット将棋でも負けそうになると相手の顔が見えないのをよいことにいきなりログアウトしていた。智子や明子と話している敏和は見えない相手に対して自分の負けを認め、相手に感謝することで力が伸びてきたことを話す。相手の見えないネット将棋だからこそ、自らの考えをきちんと持ち、誠実に行動し、責任を果たすことについて考える資料である。

とかく人は「旅の恥はかき捨て」のごとく、身近な人に知られなければ、その場限りの不誠実な態度をとり、自分の責任を回避してやり過ごすことがある。自己中心的な言動が他者に対して不快に思われても、深く考えずに無責任な態度をとってしまう。自分や社会に対して誠実に向き合うことで、自らを高め、誇り高い生き方ができることを生徒に考えさせていきたい。

3 ねらい

「僕」と同じように負けを認められなかったり、感謝の気持ちを持ってなかった経験を振り返り、自ら考え、判断し、誠実に実行して、その結果に責任を持つ態度を育てる。

4 展開

学習活動と主たる発問	予想される生徒の反応	時配	支援の手立て・留意点
<p>1 資料に関わる内容を話し合い、資料に入る雰囲気をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゲームで負けそうになった時、どんなことを考えますか。 <p>2 資料『ネット将棋』を読み進めながら、「僕」の気持ちを話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・負けたくない。 ・負けるのは悔しい。 ・どうしたら負けないか考える。 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲームでの経験や運動の試合などの経験を振り返り、資料に入る雰囲気をつくる。 ・資料『ネット将棋』を読み進めながら「僕」の気持ちを考えることを説明する。
<p>将棋で負けそうになった時に「僕」がとった行動を通して、自分はどのように行動するかを考えよう。</p>			
<p>① 嫌そうな顔もせず、駒を片付ける敏和がネット将棋をして強くなっていることを知って「僕」はどんなことを考えただろうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・時間稼ぎをしたのに嫌がらずに片付けていて悔しい。 ・少しの間に強くなって嫌な気持ちだ。 ・ネット将棋で力がついていて驚いた。 ・自分もネット将棋をして強くなりたい。 	8	<ul style="list-style-type: none"> ・負けた悔しさや時間稼ぎにも動じないことに不快感を覚えたことと、ネット将棋に取り組もうと僕が考えたことをつかませる。
<p>② ネット将棋をしていても面白くないといきなりログアウトする「僕」はどんなことを考えているのだろうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ中学生に簡単に負かされて悔しい。 ・あっという間に形勢が悪くなり、勝負を続けるのが嫌だ。 ・ボロボロの負け方で腹が立つ。 ・弱い相手では勝っても面白くない。 ・ネット将棋は思い通りに行かず悲しくなる。 ・ネット将棋なんかで強くなるとは思えない。 ・相手が誰かわからないから、やめて平気だ。 	8	<ul style="list-style-type: none"> ・①ネット将棋で負かされることの悔しさや惨めさ、②相手が弱い時のつまらなさ、③ネット将棋に対する不信感、④相手がわからないから何をしても大丈夫という気持ちであることを捉えさせる。

<p>③『負けました。』と負けを認め、『ありがとうございます。』と「本気で言える。」という敏和の言葉を聞いた後、明子や智子が笑っている中で「僕」が笑えなかったのは、どんなことを考えていたからだろうか。プリントに書きましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・いつも負けを認めない自分が恥ずかしい。 ・勝った相手に「ありがとう」を言うのは自分が傷つく。 ・ネット将棋でいきなりログアウトしている自分が情けない。 ・ネット将棋の相手のことなど考えていなかった自分が卑怯に感じた。 ・相手のことを考えて誠実に対戦する敏和はすばらしい。 ・敏和がしていることを自分ができなくて、悔しい。 	<p>1 5</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・プリント ・①負けを認められない自分の弱さ，②相手への素直な感謝の気持が持てない未熟さ，③自分のことしか考えない卑怯な態度，④敏和の誠実さについてまとめる。
<p>3 『ネット将棋』を学習して、どのように考えて行動したいと思いましたか。プリントにまとめましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・勝ち負けではなく、相手と対戦する。 ・たとえ相手が見えなくても相手の立場を考えて行動する。 ・自分勝手な判断で他の人に嫌な思いをさせないようにする。 ・卑怯なことをしないで正々堂々と行動する。 ・自分の考えをきちんと持って行動する。 ・相手を大切にして誠実に行動する。 ・自分の行動に責任を持てるようにする。 	<p>1 3</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・プリント ◇自ら考え，判断し，誠実に実行する責任ある態度をとることの大切さをまとめることができたか。
<p>4 自己評価の欄を記入する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価をして，学習のまとめをする。 	<p>3</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・5段階で自己評価し，理由を記入する。